
とちぎからヒーローへ。
地域枠という挑戦。



栃木県保健福祉部医療政策課



1. 地域枠制度とは何か（栃木県の思い）

- 医師不足・偏在解消のため、地域枠には大きな期待が寄せられています。
- 医師の働き方改革以降、地域医療の確保のため、その期待はますます大きいものになっています。
- 地域枠の入試を受験する皆様には、ぜひ以下のような県の考えを事前に知っておいてもらいたいと考えています。

1

地域枠医師は、一定期間、栃木県内で医療に従事することになります。
地域医療に従事する強い意志と意欲が求められます。

2

地域枠医師には、地域のニーズに合わせた勤務が求められます。
地域ニーズに合わせ、柔軟に勤務を継続できる力が求められます。

3

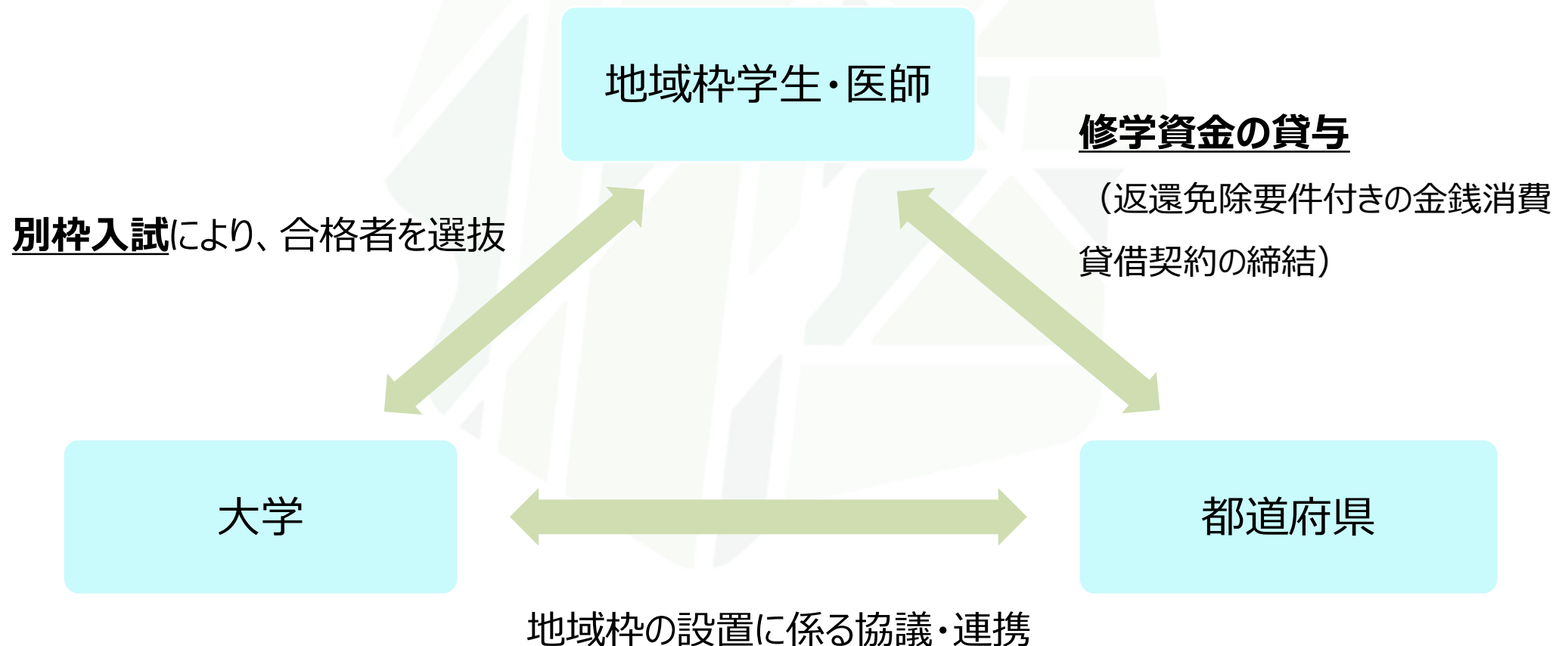
地域枠は、一般の学生・医師とは異なり、学生時代には地域医療の授業があり、卒業後も地域医療に従事する必要があります。
地域枠制度自体の正しい認識・理解が求められます。

2. 地域枠制度とは何か（制度の概要）

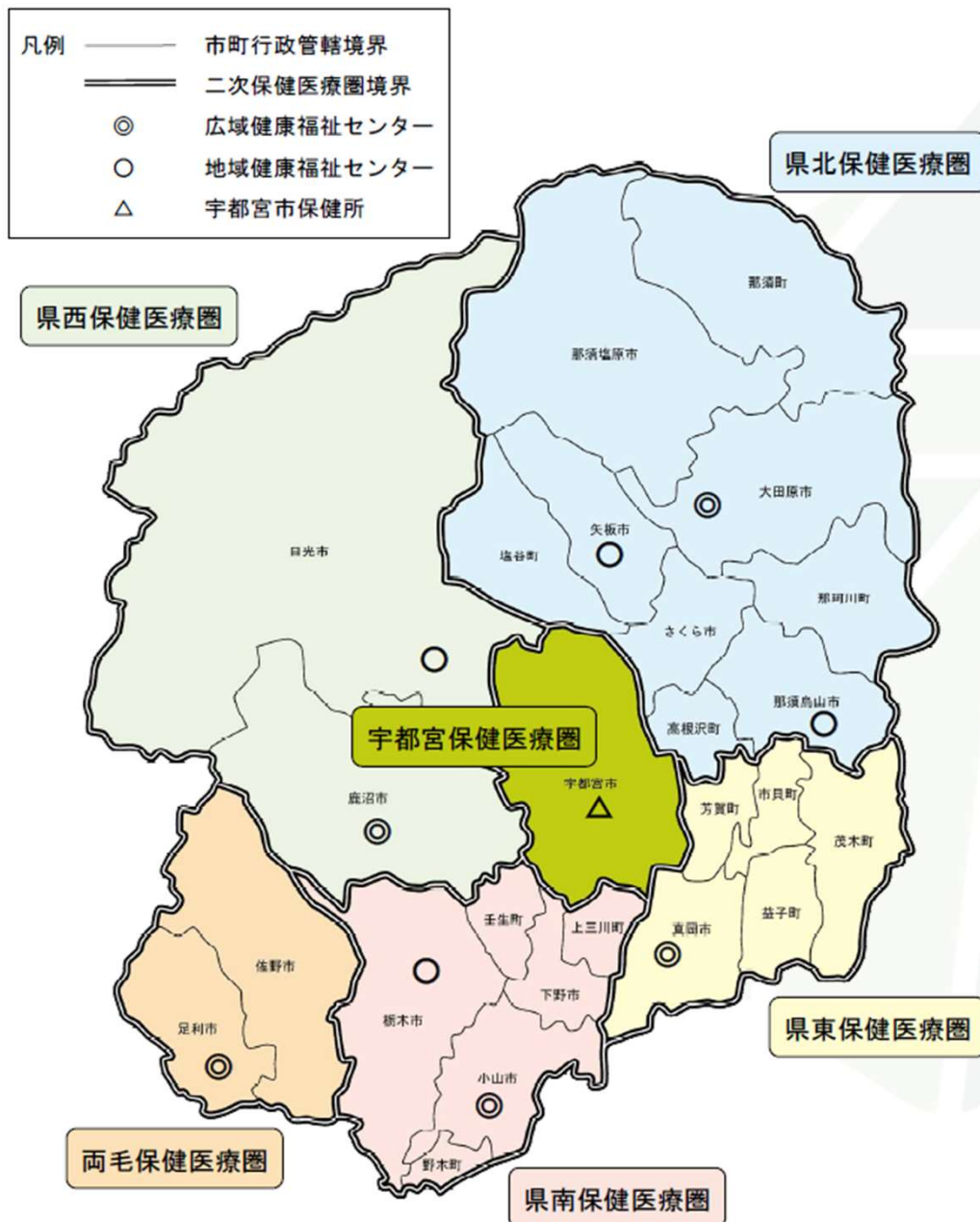
- 大学と都道府県が連携し、卒業後、大学や都道府県が指定する地域で、一定期間従事すること条件とした選抜枠（＝地域枠）を設置

⇒大学は、**別枠入試**を実施した上で、地域枠学生を選抜

⇒都道府県は、**地域枠学生に対して修学資金を貸与**（都道府県が指定する地域（医師少数区域等）で一定 期間医師として従事することにより、修学資金の返還が免除される）



3. 栃木県の医療を巡る状況（医療圏）



一次医療圏

かかりつけ医、在宅医療

住民生活に密着した保健医療活動が展開される区域 ⇒ 市町村単位

二次医療圏

地域完結型医療

一般的な保健医療需要に対応する区域
⇒ 本県では6つの保健医療圏を設定
県北、県西、宇都宮、県東、県南、両毛

三次医療圏

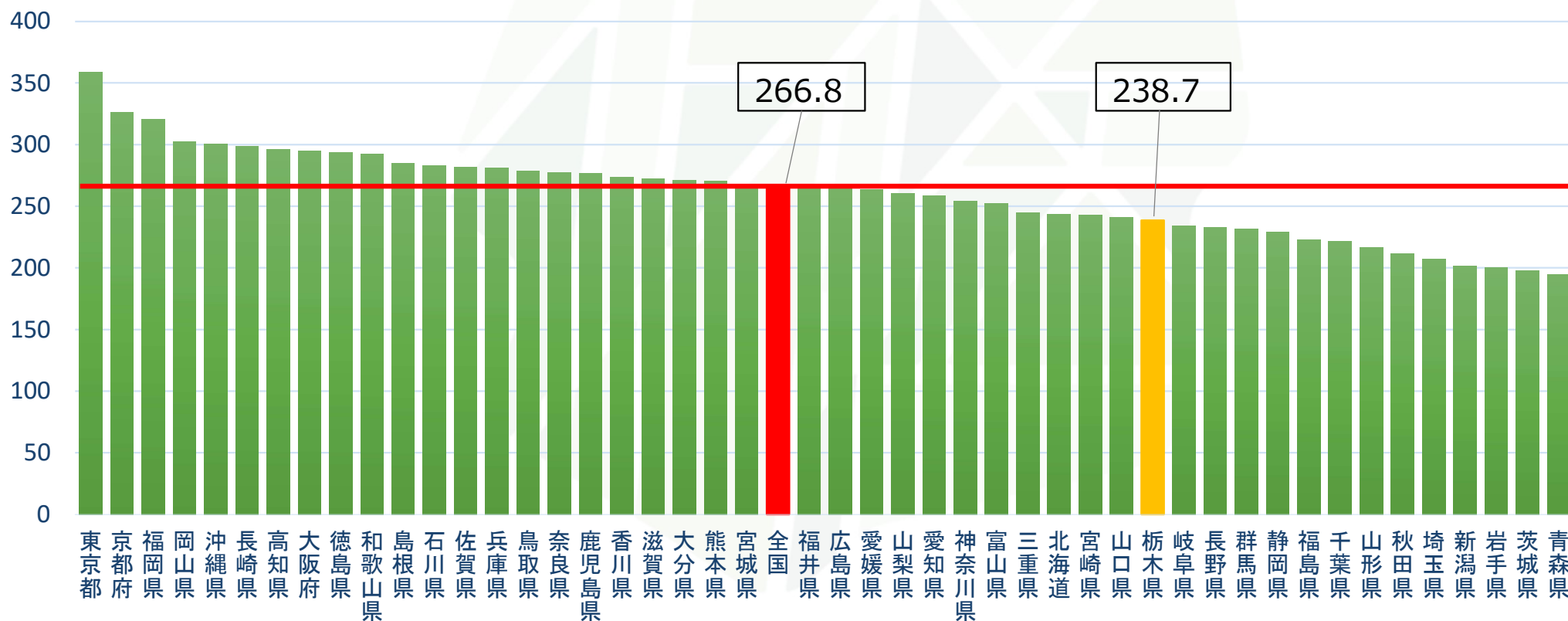
高度・特殊な専門的医療、広域的に実施することが必要な保健医療を提供するために設定する区域 ⇒ 県全域

4. 栃木県の医療を巡る状況（医師の不足）

- 栃木県の医師偏在指標（※）は**全国34位**で、**医師少数都道府県**に位置づけられた。

※医師偏在指標 人口10万人当たりの医師数に、地域ごとの医療ニーズや医師の性年齢などを反映した指標

都道府県別医師偏在指標（R8.4公表）



医師多数都道府県

医師少数都道府県

5. 栃木県の医療を巡る状況（医師の偏在）

- 県内の医師は、獨協医科大学、自治医科大学がある県南医療圏に多い。
- 一方、県北医療圏及び両毛医療圏の2医療圏は、医師少数区域に相当。

栃木県内の医師偏在指標（R8.4公表）

医療圏	医師偏在指標	区域設定
栃木県	238.7（34位）	医師少数都道府県
県北	171.2（272位）	医師少数区域
県西	207.9（175位）	
宇都宮	194.8（217位）	
県東	201.1（196位）	
県南	363.4（17位）	医師多数区域
両毛	187.5（237位）	医師少数区域

6. 栃木県地域枠等について

〔栃木県地域枠（制度一覧）〕

	NEW! 順天堂大学	NEW! 日本大学	慶應義塾大学	自治医科大学	獨協医科大学
地域枠 定 員	2名 ※現在、国へ申請中	2名	1名	3名 + 栃木県枠 2～3名	10名
身 分	県職員採用なし			県職員採用あり	
修学資金 （6年総額）	2,000万円 （県貸与）	2,200万円 （県貸与）	2,200万円 （県貸与）	2,300万円 （大学貸与）	2,200万円 （県貸与）
学 費 総 額	約2,000万円	約3,300万円	約2,200万円	約2,300万円	約3,600万円
制度開始	令和9年度～		令和8年度～	平成21年度～	平成22年度～
受験資格	制限なし		県内高校卒業者 または県内在住者	県内高校卒業者 または県内在住者 等	制限なし
義務年限	9年間 貸与期間の1.5倍（県内の初期臨床研修期間含む）を県が指定する公的医療機関等に義務年限の期間勤務する				
履行期限	14年間（5年間の猶予） 貸与期間の2倍に2年を加えた期間の間に義務年限を履行する			原則、義務の中断なし	

6-1. 栃木県地域枠等について（既存地域枠の入試制度変更）

〔R9年度～入試内容変更〕



	総合型選抜	一般選抜
～R8		5～6名
R9	NEW! 2名	3～4名

出願期間	11月初め～
試験日	11月中旬
合格発表	12月初旬
選考方法 〔総合型選抜〕	書類選考（志願者評価書） 学力試験・面接

- “全国から同じ志を持った仲間”と共に、地域に根差した総合医を目指す。
- 卒業後は県職員医師として、安定した身分のもと地域医療に従事し、医師としての経験値を高める。



	学校推薦型選抜 （指定校制）	一般選抜
～R8	5名	5名
R9	RENEWAL! 7名	3名

出願期間	10月末～
試験日	1次：11月初旬 2次：11月中旬
合格発表	12月初旬
選考方法 〔学校推薦型選抜〕	書類選考・小論文 学力試験・面接

- 毎年10名の先輩医師を輩出しており、豊富なモデルケースを参考に勤務可能。
- 卒業後は県職員医師として、県内各地域の中核病院を中心に勤務。

6-2. 栃木県地域枠等について（新規地域枠）

〔R9年度～新規〕

NEW!

順天堂
大学
(医学部)

	一般選抜（地域枠）
R9～	2名

出願期間	12月末～1月中旬
試験日	1次：2月初旬 2次：2月中旬
合格発表	2月下旬
選考方法	学力試験・小論文 面接

- 近年人気のブランド医学部に栃木県地域枠を新たに設置。
- 都内の難関医学部へ、学費負担ほぼゼロで進学が可能。

NEW!

日本大学
(医学部)

	学校推薦型選抜 (公募：地域枠)
R9～	2名

出願期間	11月中旬～下旬
試験日	1次：12月中旬
合格発表	12月下旬
選考方法	学力試験・小論文 面接

- 卒業生ネットワークが強い大学医学部にも地域枠を確保。
- 学費の自己負担は1,100万円/6年 = 私立理系大学 + 大学院
→ 私立理系と同等の学費で都内の医学部へ通える！

6-3. 栃木県地域枠等について（既存地域枠）

〔R8年度～ 設置〕

慶應義塾
大学
(医学部)

	一般選抜（地域枠）
R8～	1名

出願期間	12月末～1月中旬
試験日	1次：2月初旬 2次：3月初旬
合格発表	3月初旬
選考方法	学力試験・小論文 面接

- 県内には慶應関連病院が多く、県内医療を支える意欲のある学生は是非。義務年限中の海外留学も可能！
- 全国有数のハイレベルな環境で、医者を目指す。あなたもあの病院の院長に！？

〔栃木県地域枠入試スケジュール〕

	R8.10月	11月	12月	1月	2月	3月	R9.4月入学
自治医科大学		総合型選抜(2名)			一般選抜(3～4名)		5～6名
獨協医科大学		学校推薦型選抜(指定校制) (7名)			一般選抜(3名)		10名
慶應義塾大学 医学部					一般選抜(1名)		1名
順天堂大学 医学部					一般選抜(2名)		2名
日本大学 医学部			学校推薦型選抜 (2名)				2名

6-4. 栃木県地域枠等について（修学資金制度）

医師修学資金制度

RENEWAL!

地域枠以外にもこんな制度もあるまる～
医学部入学後でも応募できるまる～



- 対象者：全国の医学生（1～6年生）
- 定員：**4名**
- 貸与額：年間300万円＋入学金100万円
＝6年間の合計（最大）1,900万円 ※
※今後変更となる可能性があります。
- 診療科：産科・小児科・救急科・**内科・外科・整形外科・
麻酔科・総合診療科** ※令和8年度から5科を追加

大学	6年間の総額
国立	約350～ 420万円
私立	約2,000～ 4,500万円

○返還免除要件

栃木県内で臨床研修を行い、その後修学資金貸与年数の2倍に2年を加えた期間が経過するまでに、栃木県内の公的医療機関等において、上記の診療科の医師として修学資金貸与年数の1.5倍の期間勤務すれば**返還が免除**となります。

- 選考方法：書類選考及び面接試験（応募については後日HPなどに掲載します。）

令和9年度入学者については、**9月から募集開始予定**（年内に内定決定）
早めに資金面のバックアップを得ることで、受験の選択肢も広がる！！

(参考) 地域枠医師に勤務が求められる医療機関

R8.4.1現在

医療圏	医療機関	病床数等
県 北	那須赤十字病院(大田原市) 塩原温泉病院(那須塩原市) 那須南病院(那須烏山市) 国際医療福祉大学塩谷病院(矢板市)	450床、救命救急センター、第2種感染症指定医療機関 199床 130床 199床
県 西	上都賀総合病院(鹿沼市) 獨協医科大学日光医療センター(日光市) 日光市民病院(日光市) へき地診療所(湯西川診療所、栗山診療所)(日光市)	296床 199床 100床、第2種感染症指定医療機関
宇都宮	済生会宇都宮病院 国立病院機構栃木医療センター 国立病院機構宇都宮病院 地域医療機能推進機構うつのみや病院 栃木県立がんセンター 栃木県立岡本台病院 栃木県立リハビリテーションセンター	644床、救命救急センター 350床、第2種感染症指定医療機関 380床 199床 291床 221床 153床
県 東	芳賀赤十字病院(真岡市)	364床
県 南	新小山市民病院(小山市) とちぎメディカルセンターしもつが(栃木市) 自治医科大学附属病院(下野市) 獨協医科大学病院(壬生町)	300床 307床、第2種感染症指定医療機関 1,106床、特定機能病院、救命救急センター 1,195床、特定機能病院、救命救急センター
両 毛	足利赤十字病院(足利市) 佐野厚生総合病院(佐野市) 佐野市民病院(佐野市) へき地診療所(飛駒診療所、野上診療所)(佐野市)	540床、救命救急センター 510床、第2種感染症指定医療機関 232床